

<h1>ネイチャー・ウォーク</h1> <p>ECO  SAITAMA <small>公益財団法人</small> 埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会</p>	<p>令和5年6月 2023.6.18発行 (通巻第354号)</p>
---	---

■5月のネイチャー・ウォーク

コウノトリ～鴻巣市天空の里～

JR吹上駅～同駅

2023年5月28日(日)のネイチャーはJR吹上駅から、鴻巣市の「コウノトリ野生復帰センター 天空の里」へと歩くコースです。お天気にも恵まれ、24名の方が参加しました。

記念撮影は、「天空の里」の前の休憩スペースで、はい、チーズ!



「天空の里」では、鴻巣生まれのコウノトリのヒナを放鳥することを目指して、コウノトリのペアを飼育しています。2022年1月から一般公開されています。

吹上駅を出ると、早速お出迎えの看板が立っていました。



住宅街をしばらく歩くと、一面に田んぼが広がります。
ヤマカガシがカエルを食べている場面は、一同興味津々で見入りました。



田んぼを抜けて、荒川の堤防沿いを歩きます。この辺りは、川幅が日本一で、実に約2.5km。
一面に広がるポピー畑も、河川区域に含まれています。

出発から1時間ほど。ついに「天空の里」に到着しました。

「天空の里」では、鴻巣市の池田さんに解説をいただきました。
ありがとうございました。





今年はペアから卵が産まれましたが、残念ながらすべて無精卵だったそうです。「天空の里」では、様々な展示がなされていて、コウノトリについて詳しく知ることができます。まだの方は是非一度行ってみてください。



お昼ご飯を食べた後は、すぐ近くの田んぼの水路で生きもの観察をしました。一番右の写真は、外来種のジャンボタニシの卵（触ると猛毒）。コウノトリは完全肉食で、こうした生きものたちを毎日 500g 食べていく必要があります。



最後は、足立北部排水路沿いを歩いて駅に戻りました。写真は、キジを観察している場面。クワの実も食べました。午後は少し暑くなってきましたが、無事終了しました。皆さんお疲れ様でした。次回もよろしくお願いします。